

福岡エリア初！ベンチャー・スタートアップ特区における企業の資金調達を支援

## 日商保、福岡エリアでの「敷金返還くん」サービス提供開始

敷金減額サービス、2021年上期の問い合わせ件数は昨対比 160%と資金確保ニーズが急増中

サイト URL : <https://lp2.jpccpg.co.jp/shikikinhenkankun>

オフィス・店舗等商業用不動産の賃貸時に預ける「敷金」を事業資金に変換し、ベンチャー・スタートアップ企業等の“事業成長”をサポートする、株式会社日商保（本社：東京都港区、代表取締役社長：豊岡 順也、以下「日商保」）は、すでに預け入れている敷金の返還を通して、事業資金を確保できるサービス「敷金返還くん」を福岡エリアにて提供開始します。

挑む企業に、新しい保証を。

NISSHO\HO

敷金が事業資金に変わる  
**敷金返還くん**  
オフィス・店舗の敷金を返還します

### ■サービス開発・導入背景

福岡市はスタートアップ都市と言われるなど、以前より創業に対して力を入れており、2012年には「スタートアップ都市ふくおか宣言」、2013年にはスタートアップ都市推進協議会を設立しています。日本一創業しやすい街を目指し、スタートアップ企業や中小企業の第二創業支援、雇用創出や地域経済の発展に貢献するとともに、企業が「新たな価値を生み出すこと」「グローバルマーケットへチャレンジすること」を支援するなど、ベンチャー・スタートアップ企業に対する支援活動に積極的に取り組んでいます。

さらに、新型コロナウイルスの影響により、都内のオフィスビル空室率が18カ月連続で上昇する中、福岡エリアのオフィスビル空室率は4月から7月にかけては減少の動きを見せるなど、ビジネス特区としての注目度がより高まっています。

上記のような背景の中で、2011年の創業以来、オフィスや店舗を借りる企業に対して、ビルオーナーに預ける保証金・敷金を軽減し、その軽減した資金を本業に使っていただくことでさらなる成長・発展をしてもらいたいとの想いから、保証金・敷金に置き換わる保証制度を提供してきた日商保は、より多くのベンチャー・スタートアップ企業の成長を支援するべく、「敷金返還くん」サービスの提供を福岡エリアで開始します。

当社が提供する「敷金半額くん」や「敷金返還くん」などの敷金減額サービスは、2021年上期の問合せ件数が昨対比160%となり、手元の資金を確保したいと考える企業から好評を得ています。

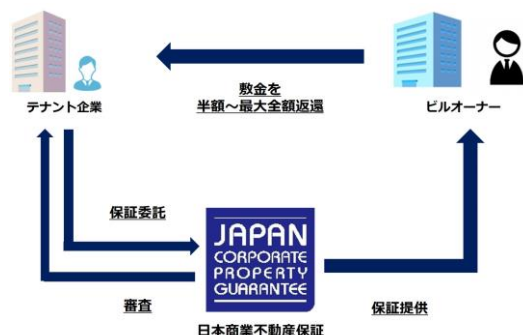
当社は今後も成長を続ける企業をサポートするべく、企業理念は「本業を助ける金融」のもと、買い手・売り手・社会良しの「三方よし」を実践してまいります。

## ■「敷金返還くん」について

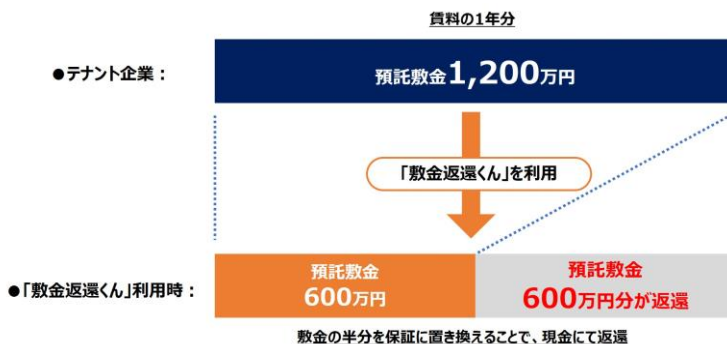
現在預託している敷金のうち、半額～最大全額を弊社保証に置き換えることで、置き換えた分の敷金が現金としてビルオーナーから入居テナント企業に返還されます。サービスの利用には当社所定の審査及びビルオーナーの承諾が必要となりますが、弊社が審査のうえ保証を提供することにより、ビルオーナーが安心して敷金を返還できる仕組みとなっています。

未曾有の社会情勢の中、企業の新たな資金調達方法として、これまで活用されてこなかった賃貸オフィス・店舗の敷金を当社の保証で流動化できることで、この事業成長を目指す企業の一助となるよう、サービスを提供してまいります。

<敷金返還くん概要図>



<賃料 100 万円／月、敷金 12 か月（預託敷金 1,200 万円）の場合>



## <サービス説明動画>

- ・動画公開先 : YouTube
- ・サイトURL : <https://lp2.jpccpg.co.jp/shikikinhenkankun>



## ■株式会社日商保について

日商保はオフィス・店舗など事業用不動産の賃貸に関わる預託敷金（保証金）を積極的な事業投資に活用できる敷金減額保証サービスを提供しております。万が一テナントに倒産・破産などの賃料不払いが生じた場合には、日商保がオフィスの賃料債務・原状回復費などを保証することを前提に、入居企業の預託敷金を半額にできるサービスです。入居する企業は敷金という入居・移転に際し必要な初期費用を抑え、その減額分の資金を事業に有効活用することができます。

## <会社概要>

- 会社名 : 株式会社日商保 (URL : <https://jpccpg.co.jp/>)
- 所在地 : 〒105-0003 東京都港区西新橋1-7-2 虎の門高木ビル3階
- 代表者 : 代表取締役社長 豊岡 順也
- 設立 : 2011年9月16日
- 資本金 : 48,900万円